

令和7年度第3回札幌方面栗山警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和8年3月9日(月) 午後1時30分から午後2時45分まで

2 開催場所

栗山警察署 大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 5人(定員8名)

会 長 成 田 正 夫

副 会 長 小 川 美 千 代

委 員 坂 口 由 紀 子、水 野 智 勉 子、松 山 伸

(2) 警察署員 9人

署 長 木 下 清 人

副 署 長 齊 藤 憲 明

夕張庁舎所長 瀬 川 之 泰

警務課長 齊 藤 英 雄 (事務局)

生安課長 長 尾 冬 美

刑事課長 八 條 秀 俊

地域課長 齋 藤 淳 郎

交通課長 高 梨 祐 祐

警備課長 姉 崎 慎 人

4 会長挨拶

5 署長挨拶

6 業務説明

(1) 管内犯罪発生状況について(令和7年中)

(2) 交通事故の現状について(令和7年中)

7 質疑応答

(1) 業務説明に関する質疑

委員： 空き家に侵入する者は再犯者が多いのか。

警察： 再犯者も多いが、最近では犯歴のない若者による犯行も増えている。

委員： 昨年発生した死亡交通事故は高齢者の運転によるものか。

警察： 3件の死亡交通事故のうち2件は、運転していた方もなくなられた方も70歳代となるが、これらの事故に限らず人身交通事故当事者は高齢の方が多い傾向にある。

警察では引き続き高齢者に対する交通安全講話や体験型の交通安全教室を開催して高齢者が交通事故に遭わないよう実践していく。

委員： 高齢者の運転免許証の返納状況はいかがか。

警察： 返納手続きは警察署で受け付けているほか各自自治体に担当官を派遣して出張返納窓口を開設しているが返納者数は毎年平均的に推移している。

委員： 高齢者の中には自分の能力の低下を自覚しないまま運転している人もいると思うが、なにか危険を理解してもらえる対策はあるのか。

警察： 体験型の安全運転教室は自動車学校と協力して行っており、実技試験を実施して成績に応じ個別に説明し理解を求めている。今後も啓発を含め、危険性を理解してもらえよう継続していきたい。

委員： 昨年検挙した不同意性交事件はSNSを利用したものになるのか。

警察： この事件でも犯人と被害者はSNSで知り合っており、全国的に若い女性がSNSを通じて知り合った男と実際に会い被害に遭うケースが多く発生している。

(2) 事前質問に対する回答

ア 冬期間の交差点安全対策について

委員： 積雪で見通しが悪い交差点の安全対策はいかがか。

警察： 交差点に限らず積雪、凍結等で危険がある道路等を警察で把握した際は道路管理者に積極的に情報提供して除雪、砂巻き等の措置を講じてもらっている。

イ 還付金詐欺対策について

委員： 最近、還付金詐欺被害が増加していると耳にしているが、銀行や郵便局に看板を設置するなどの対策を講じてはいかがか。

警察： 現状で各金融機関の協力を得ながらATM限度額引き下げや啓発ポスターの掲示などを実施中であるが、犯人は様々な機関を騙り電話をしてくるため、これらの掲示物には警察署の電話番号を目立つように記入し、まず警察に相談してもらえよう工夫していきたい。

ウ サイバー犯罪対策について

委員： サイバー犯罪などで生活を脅かされることが身近になっている。信じてよい情報か否かの見極めについて教えてほしい。

警察： サイバー犯罪で多いのが、偽サイトで個人情報の入力を求め盗み取るというものとなる。

インターネット閲覧中に突然ウィルス感染等の表示等の予期しない表示があったときは、決して表示された連絡先に返信したりボタンをクリックしたりせず直ちに電源を切り、電源を入れ直しても表示が消えない等の時はまず警察に相談してからインターネットのサポートセンターに連絡してもらおうよう広報啓発を行っている。

また北海道警察が運営する防犯アプリ「ほくとポリス」でも発生状況や対策情報を発信し注意を呼びかけている。

8 次回の開催予定

令和8年度第1回警察署協議会は令和8年6月頃の開催で一致した。